

2-2 現場データの保存

CADやトラバース計算などの各測量計算アプリケーションの作業データはメモリー上に保存されているため、[名前を付けて保存] もしくは [上書き保存] を実行するまでハードディスク（現場データ本体）に保存されていません。

ハードディスクに保存せずに現場を終了するとデータが消滅するため、各作業データを終了するたびに、保存することをおすすめします。

ここでは、[名前を付けて保存] の操作を説明します。（[上書き保存] の初回実行時も同様の操作になります。）

- 1 [ファイル] - [名前を付けて保存] をクリックします。



- 2 保存先の工区や現場名を確認して [保存] をクリックします。



- 3 [OK] をクリックします。



補足

自動バックアップファイル・履歴ファイルについて

ONEには、不慮の事故などにより現場データが消失したり、壊れたりする場合に備えて、自動バックアップファイルを作成する機能があります（正常に終了した時には、自動バックアップファイルは残りません）。

また、誤って上書き保存した場合に備えて、保存前のデータを履歴として残す機能もあります。

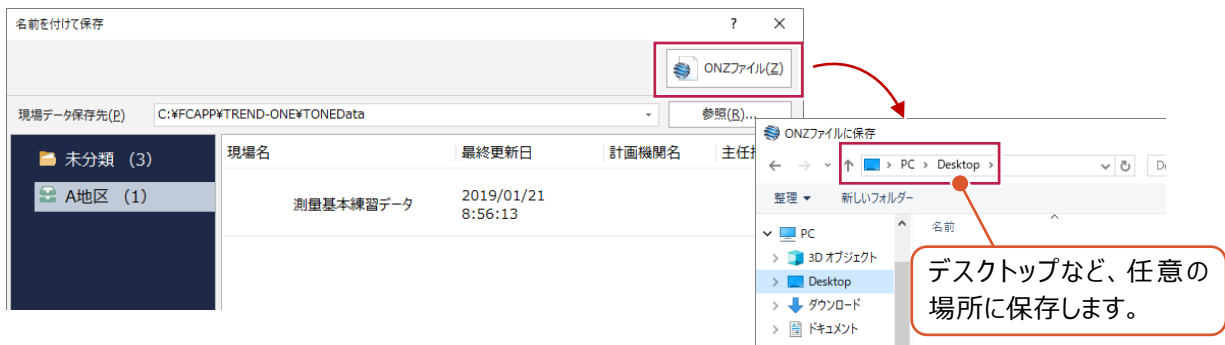
補足

ONZ ファイルについて

ONEの現場データはフォルダー管理ですが、1ファイルに圧縮して受け渡しに利用することもできます。

圧縮したデータは、ONZファイルとしてパソコン内の任意の場所に保存されますので、現場管理には登録されません。

ONZファイルに保存するには、[名前を付けて保存] 画面の [ONZファイル] をクリックし、保存先を指定します。



◆ONZファイルの開き方

ONZファイルは、ダブルクリックで開くことができます。



※現場管理に取り込む場合は、[読込] タブー [登録] グループー [ONZ,XAZデータ] で、ONZファイルを指定してください。

